

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	教育相談センター	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	01	02	18	つくば市教育相談センター運営に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	31,906千円	34,127千円	34,127千円	0千円
	総人件費	7,670千円	7,312千円	7,312千円	
	総事業コスト	39,576千円	41,439千円	41,439千円	

事務事業名	01 教育相談事業				指標名	教育相談件数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	面接相談及び電話相談									
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度													
戦略プラン	-					①面接相談1,000件 ②電話相談250件	①面接相談1,100件 ②電話相談260件	①面接相談1,200件 ②電話相談280件	-	-	-	-													
	-					①面接相談1,116件 ②電話相談253件	①面接相談1,150件 ②電話相談275件	①面接相談1220件 ②電話相談295件	①面接相談1,570件 ②電話相談185件	-															
総合戦略	II 2 4 教育現場の支援体制整備				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-										
	-					多様な相談事例が増えてきているので、教育相談員の質の向上を図り、相談の効率が上がるような事業を実施する。また相談受付時間を延長することにより、潜在的な相談者にも相談ができる体制を整える。	-				多様な相談事例が増えてきているので、教育相談員の質の向上を図り、相談の効率が上がるような事業を実施する。また相談受付時間を延長することにより、潜在的な相談者にも対応ができるたいせいを整える。														
市長公約	-				事業計画	毎週火曜日に相談センターの全体会議を開催し、情報の共有化及び助言・指導及び検討会議等により、今後の対応を検討する。 また、年に9回の大学教授及び各専門医のスーパーバイザー研修を実施し、講義形式や相談ケース形式など様々な研修形態を実施しさまざまな角度からのアプローチを目指す。				毎週火曜日に、相談センター全体会議を実施し、情報の共有化を及び助言・指導及び検討会議等により、今後の対応を検討する。 また年に9回、大学教授及び各専門医のスーパーバイザー研修を実施し、講義形式や相談ケース形式など様々な研修形態を実施し、いろいろな角度からのアプローチを目指す。 子ども担当の教育相談員を1名増員の検討を行う。				事業実施コスト		H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初						
個別計画	-													事業費(A)		13,440千円	13,440千円	13,440千円	0千円						
根拠法令等	つくば市教育相談センター条例				活動実績	年9回のスーパーバイザー(SV)による研修や事案の助言などしてもらいながら、週1回の全体会議や見立て、チーム支援会議などを行いながら、個々に合った相談対応を行った。				上半期活動実績				国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円						
	つくば市教育相談センター条例施行規則													県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円						
事業分類	A 任意的事业				成果	相談者に対して、課題解決への方向性をより具体的に方向性や話をすることができた。				上半期成果				地方債		0千円	0千円	0千円	0千円						
執行体制	職員のみ													その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円						
事業の目的	さまざまな原因により、不登校や集団不適應を起こしている児童生徒並びにその保護者、幼児の保護者、教職員の電話相談・面接相談を通して、集団適應や学校復歸の状態にするため。				課題	年々、相談の内容が複雑化・多様化・深化してきている。				課題				一般財源		13,440千円	13,440千円	13,440千円	0千円						
														人件費(B)		765千円	732千円	732千円							
事業の概要	市内在住の未就学児保護者、児童生徒並びにその保護者を対象に、さまざまな原因が下で起こる不登校や学校生活における集団不適應、いじめ、非行や怠学、心理的な悩み、その他教育上の悩みについて、電話相談及び面接相談を実施し、相談者の不安軽減、ソーシャルスキルの獲得を図る。				事業の進捗状況	達成				改善目標の進捗状況				達成		正職員		従事割合	0.10人	0.10人	0.10人				
																時間外勤務		12.00時間	8.00時間	8.00時間					
ISO 14001	H29 環境関連性				有効性				中：適切な成果が得られている				有効性		-										
	H30 環境関連性				効率性				中：適切な費用対効果が得られている				効率性		-										
				総合評価				B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価		-											
												臨時職員等		無		無		無		事業コスト(A+B)		14,205千円	14,172千円	14,172千円	
												H31年度当初積算根拠		-		-		-		-		-		-	
												H31年度の方向性		-		理由		-		-		-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	31,906千円	34,127千円	34,127千円	0千円
	総人件費	7,670千円	7,312千円	7,312千円	
	総事業コスト	39,576千円	41,439千円	41,439千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	教育相談センター	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	01	02	18	つくば市教育相談センター運営に要する経費

事務事業名	02 適応指導教室運営事業	指標名	適応指導教室入級者数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	適応指導教室の運営・指導								
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	その他の指標	-										
	-		①入級生数7名 ②指導者数250人	①入級生数8名 ②指導者数300人	①入級生数8名 ②指導者数350人	-	-	-	-												
	-	実績	①入級生数8名 ②指導者数297人	①入級生数8名 ②指導者数330人	①入級生数13名 ②指導者数400人	①入級生数9名 ②指導者数140人	-	-	-												
総合戦略	-	改善目標	H29年度				H30年度				事業実施コスト	H28年度決算 H29年度決算 H30年度当初 H31年度当初									
	-		毎週水曜日は、チャレンジディとして、適応指導教室（つくしの広場）を閉級し、入級生が学校復帰を目指す日とすることで、部分登校などを支援してゆく。	毎週水曜日は、チャレンジデーとして、適応指導教室（つくしの広場）を閉級し、入級生が学校復帰を目指す日とすることで、部分登校などを支援してゆく。																	
市長公約	-	事業計画	毎週火曜日に相談センターの全体会議を開催し、情報の共有化及び助言・指導及び検討会議等により、今後の対応を検討する。 また、年に9回の大学教授及び各専門医のスーパーバイザー研修を実施し、講義形式や相談ケース形式など様々な研修形態を実施しさまざまな角度からのアプローチを目指す。				毎週火曜日に、相談センター全体会議を実施し、情報の共有化を及び助言・指導及び検討会議等により、今後の対応を検討する。 また年に9回、大学教授及び各専門医のスーパーバイザー研修を実施し、講義形式や相談ケース形式など様々な研修形態を実施し、いろいろな角度からのアプローチを目指す。 子ども担当の教育相談員を1名増員の検討を行う。				事業費(A)	3,840千円 3,840千円 3,840千円 0千円									
個別計画	-		活動実績	13人の児童ひとりひとりの個性に合ったアプローチ方法で、無理に学校へ行かせるのではなく、自ら学校へ行ってみたいくなるような対応を心掛けた。				-									国庫支出金	0千円 0千円 0千円 0千円			
根拠法令等	つくば市教育相談センター条例 つくば市教育相談センター条例施行規則	成果		全く学校へ行けなかった児童生徒が、放課後登校や保健室登校、挨拶登校等、週に1日…2日と学校へ復帰することができた。				-				県支出金	0千円 0千円 0千円 0千円								
事業分類	A 任意的事业		課題	児童生徒の「心のエネルギー」を貯めることがひとりひとり異なるので、幅広い知識や経験が必要である。				-										地方債	0千円 0千円 0千円 0千円		
執行体制	職員のみ	事業の目的		不登校を起こしている対象児童生徒を適応指導教室に通級させ、小集団での様々な活動及び教育相談員等とのふれあいを通して適応力を高め、学校復帰を促すため。				-				その他特財	0千円 0千円 0千円 0千円								
事業の概要	通級している児童生徒同士の計画的で意図的な体験活動を通して、不安の解消と安定を図りつつ、集団適応力を高めるとともに、児童生徒の自主的な再登校を援助する。また、不登校児童生徒に対する援助、指導を行う中心的な施設としての役割、対応(治療)の開発・改善、学校と家庭(地域社会)、関係機関との連携の在り方等についての実践的研究を進め、本市の不登校問題の解消を図る。		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	一般財源							3,840千円 3,840千円 3,840千円 0千円			
		有効性		中:適切な成果が得られている			有効性	-													
ISO 14001	H29 環境関連性	評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-			人件費(B)	383千円 367千円 367千円									
	H30 環境関連性		総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-													
												内訳	H31年度当初積算根拠								
																		正職員	従事割合	0.05人	0.05人
												内訳	時間外勤務	6.00時間	4.00時間	4.00時間					
													臨時職員等	無	無	無					
												内訳	事業コスト(A+B)	4,223千円	4,207千円	4,207千円					
													H31年度当初積算根拠	-							
												H31年度当初積算根拠	理由	-							
														H31年度の方向性	-	理由	-				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	教育相談センター	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	01	02	18	つくば市教育相談センター運営に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	31,906千円	34,127千円	34,127千円	0千円
	総人件費	7,670千円	7,312千円	7,312千円	
	総事業コスト	39,576千円	41,439千円	41,439千円	

事務事業名	03 教育相談員研修事業				指標名	スーパーバイザー研修実施回数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	教育相談員の資質向上とケースの検討・対応・対策								
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度												
戦略プラン	-					SV研修を年9回実施する	SV研修を年9回実施する	SV研修を年9回実施する	-	-	-	-												
	-					実績	SV研修を年9回実施した	SV研修を年8回実施した	SV研修を年9回実施した	SV研修を年9回実施した	-													
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-									
	-					年間9回実施予定の所内研修を定期的(月1回程度)に持てるように計画し、教育相談員の資質向上に役立てたい。				年間9回実施予定の所内研修を定期的(月1回程度)に開催できるように計画し、教育相談員の資質向上に役立てたい。														
	-					またスーパーバイザーとの日程調整を十分におこなって年9回の所内研修を実施する。																		
市長公約	-				事業計画	多種多様な相談内容や事例が増えているため、教育相談員の質の向上を図り、電話相談・面接相談・適応指導教室通級生等の改善等の効果が上がるようにする。				多種多様な相談内容や事例が増えているため、教育相談員の質の向上を図り、電話相談・面接相談・適応指導教室通級生の改善等の効果が上がるようにする。				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初						
個別計画	-					活動実績	年9回のスーパーバイザー(SV)による研修や事案の助言などしてもらいながら、充実した研修を行うことができた。				-				事業費(A)	216千円	216千円	216千円	0千円					
根拠法令等	つくば市教育相談センター条例				成果		医師や大学教授による専門的な見立てで、難しい問題を解決することができた。				-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円					
事業分類	A 任意的事业					課題	同じ内容のケースがなく、どのケースも複雑な問題を抱えているため、研修テーマとして選択するケース判断が難しい。				-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円					
執行体制	職員のみ				事業の概要		-				-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円					
事業の目的	外部から講師を招いて、相談センターで関わっている事例をもとに、教育相談に関する理論や手法などを具体的に検討することで教育相談員の更なる資質向上を図るため。					事業の進捗状況	達成				-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円					
	事業の概要	SV(スーパーバイザー)による研修を年9回実施する。 【スーパーバイザー】 ①大学教授 ②大学病院小児科医 ③大学付属病院小児科医					達成				-				一般財源	216千円	216千円	216千円	0千円					
ISO 14001		H29 環境関連性	-			評価	有効性 中:適切な成果が得られている				-				人件費(B)	383千円	367千円	367千円						
	H30 環境関連性	-			効率性 中:適切な費用対効果が得られている				-				正職員	従事割合 0.05人	0.05人	0.05人								
															時間外勤務	6.00時間	4.00時間	4.00時間						
															臨時職員等	無	無	無						
															事業コスト(A+B)	599千円	583千円	583千円						
															H31年度当初積算根拠	-								
															H31年度の方向性	-	理由	-						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	教育相談センター	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	01	02	18	つくば市教育相談センター運営に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	31,906千円	34,127千円	34,127千円	0千円
	総人件費	7,670千円	7,312千円	7,312千円	
	総事業コスト	39,576千円	41,439千円	41,439千円	

事務事業名	04 スクールサポーター配置事業				指標名	市内全15中学校へ2名づつ配置				指標種別	活動結果指標				指標の概要	市内全15中学校へ2名づつ配置し、1校あたり2名合わせて450時間を超えない範囲でサポートを行う		
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
戦略プラン	-					市内全15中学校へ2名づつ配置	市内全15中学校へ2名づつ配置	市内全15中学校へ2名づつ配置	-	-	-	-						
	-					市内全15中学校へ2名づつ配置した	市内全15中学校へ2名づつ配置した	市内全15中学校及び義務教育学校へ2名づつ配置した	市内全15中学校及び義務教育学校へ2名づつ配置した	-								
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標				
	-					配置されるスクールサポーターについて、年間の相談活動予定時間を十分に活用させ、配置校の問題解決に役立ててゆく。				配置される学校生活サポーターについて、年間の相談活動予定時間を十分に活用して、配置校の問題解決に役立ててゆく。								
	-																	
市長公約	-				事業計画	引き続き市内の全中学校へスクールサポーターを各校2名づつ配置し、中学校生活において苦戦している生徒に対し、学習環境の整備、生徒の悩み相談、その他の学校教育の支援を行ってゆく。 また、スクールカウンセラーやスクールライフサポーターとの混同を避けるため、平成28年度から名称を『学校生活サポーター』へ変更する。(ただし、事業内容は変わらない。)				引き続き市内の全中学校及び義務教育学校へ学校生活サポーター各校2名づつ配置し、中学校生活において苦戦している生徒に対し、学習環境の整備、生徒の悩み相談、その他の学校教育の支援を行ってゆく。またスクールカウンセラーとの混同を避けるため、平成28年度から名称を「学校生活サポーター」へ変更した。ただし、事業内容はかわらない。今後ますます浸透してゆくようにする。								
個別計画	-																	
根拠法令等	-				活動実績	各校2名配置で年間450時間勤務を目安として、中学校生活において、苦戦している生徒に対し、学習環境の整備や生徒の悩み相談などのサポートを行った。				-				事業実施コスト				
事業分類	A 任意的事业													H28年度決算 H29年度決算 H30年度当初 H31年度当初				
執行体制	職員のみ				成果	学校生活サポーターの存在により、学校に来ることができるようになった生徒が増えた。				-				事業費(A)				
事業の目的	スクールサポーターを設置する目的は、学校生活における子ども達の苦戦の場面において、「自分はダメだ」と思わせたくないような予防的仕事をするため。													6,750千円 6,750千円 6,750千円 0千円				
	事業の概要	スクールサポーターは、つくば市独自の事業である。学校長の監督の下、中学生の学校での学習場面や休み時間、放課後の不応を支援する。また、友達や教師、あるいは家族との関係における悩みなどを聞き、教員と協力しながら生徒を支援する。				課題	スクールカウンセラーとは違って、学校生活のサポートであることから、まだまだ認知度がそれほど高くない。				-				国庫支出金			
												0千円 0千円 0千円 0千円						
ISO 14001	H29 環境関連性	-				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	内訳				
	H30 環境関連性	-													県支出金			
					評価	有効性	中：適切な成果が得られている			評価	有効性	-			地方債			
						効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-			0千円 0千円 0千円 0千円			
					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			その他特財					
													0千円 0千円 0千円 0千円					
													一般財源					
													6,750千円 6,750千円 6,750千円 0千円					
													人件費(B)					
													383千円 367千円 367千円					
													正職員					
													従事割合					
													0.05人 0.05人 0.05人					
													時間外勤務					
													6.00時間 4.00時間 4.00時間					
													臨時職員等					
													無 無 無					
													事業コスト(A+B)					
													7,133千円 7,117千円 7,117千円					
													H31年度当初積算根拠					
													-					
													H31年度の方向性					
													-					
													理由					
													-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	教育相談センター	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	01	02	18	つくば市教育相談センター運営に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	31,906千円	34,127千円	34,127千円	0千円
	総人件費	7,670千円	7,312千円	7,312千円	
	総事業コスト	39,576千円	41,439千円	41,439千円	

事務事業名	06 スクールカウンセラー配置事業				指標名	指定した小学校4校に2名を配置				指標種別	活動結果指標				指標の概要			
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
戦略プラン	-				目標値	指定した小学校4校に2名を配置	指定した小学校4校に2名を配置	指定した小学校6校に2名を配置(予算額は変わらず)	-	-	-	-						
	-				実績	指定した小学校4校に2名を配置した。	指定した小学校4校に2名を配置した。	指定した小学校6校に2名を配置した	指定した小学校6校に2名を配置した	-								
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標				
	-					全校配置ではないので、県配置のスクールカウンセラーと併せ、市全体での不登校の状況を見ながら効果的な配置に努める。				全校配置ではないので、県配置のスクールカウンセラーと併せ、市全体での不登校の状況を見ながら効果的な配置に努める。								
	-																	
市長公約	-				事業計画	年間の相談活動予定時間を十分に活用させ、配置校における問題解決及び解消に役立てたい。平成28年度から増員はないものの、拠点校を1校で対象校を2校とした6校での活動へと幅を広げて対応していく。				年間の相談活動予定時間を十分に活用させ、配置校における問題解決及び解消に役立てたい。平成28年度から増員はないものの、拠点校を1校で対象校を2校とした6校での活動へと幅を広げて対応していく。								
個別計画	-					活動実績	拠点校を1校設定し、対象を2校としたことにより、カウンセリングを受けられる児童が大幅に増えた。				-							
根拠法令等	-				成果		子ども達の悩みのまだ小さいうちに、専門的なカウンセリングを行うことができた。				-							
事業分類	A 任意的事业					課題	県のスクールカウンセラー事業と併せながら、全校配置を行ってゆきたい。				-							
執行体制	職員のみ				事業の進捗状況		達成	達成	改善目標の進捗状況	達成	-	改善目標の進捗状況	-					
事業の目的	スクールカウンセラー目的は、配置した小学校4校において保護者、児童並びに教職員の相談を受け相談者の不安の解消を目指すため。					評価	有効性	中：適切な成果が得られている			有効性	-						
	事業の概要	スクールカウンセラーは、臨床心理士として配置校及び近隣の小学校の児童、保護者、教職員の抱えている教育上のさまざまな問題を聞き、専門的な見地から不安の解消に向けた方向性を示す。					効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-						
ISO 14001		H29 環境関連性	-			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			H31年度の方向性	-	理由	-	
	H30 環境関連性	-																
事業実施コスト															H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
事業費(A)															1,474千円	1,474千円	1,474千円	0千円
国庫支出金															0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金															0千円	0千円	0千円	0千円
地方債															0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財															0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源															1,474千円	1,474千円	1,474千円	0千円
人件費(B)															383千円	367千円	367千円	
正職員															従事割合	0.05人	0.05人	0.05人
時間外勤務															6.00時間	4.00時間	4.00時間	
臨時職員等															無	無	無	
事業コスト(A+B)															1,857千円	1,841千円	1,841千円	
H31年度当初積算根拠															-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	教育相談センター	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	01	02	18	つくば市教育相談センター運営に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	31,906千円	34,127千円	34,127千円	0千円
	総人件費	7,670千円	7,312千円	7,312千円	
	総事業コスト	39,576千円	41,439千円	41,439千円	

事務事業名	07	つくば市教育相談センター運営事業			指標名	電話相談及び面接相談時間、適応指導教室の開級日数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	電話相談及び面接相談は、月曜日から金曜日の週5日（祝日を除く） 適応指導教室は、週4日開級 （通級生が学校へ行こうとチャレンジする日を水曜日に設定）				
戦略プラン	I	2	9	教育現場の支援体制整備	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
	-	-	-	-	実績	電話相談、面接相談を週5日実施。適応指導教室を週4日開級	電話相談、面接相談を週5日実施。適応指導教室を週4日開級	電話相談、面接相談を週5日実施。適応指導教室を週4日開級	-	-	-	-								
総合戦略	-	-	-	-	改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	電話相談の延長を行う 月～木 9:00～17:45 金 9:00～17:00 面接相談は9:30～16:20 （1回の面接時間は50分・予約制） 出張面接相談として葛城小学校で行う（月・金曜日）					
	-	-	-	-		面接相談者の増加及び長期化等により、現在の相談1日5コマ（1コマ50分）では、対応ができないことや、最終の相談を16:10～17:00にして1コマ増やして1日6コマにすることにより、相談者へのサービス向上及び教育相談員の相談の分散化を実施する。	面接相談者の増加及び長期化等により、相談1日5コマ（1コマ50分）から6コマへ増やして対応している。それでも対応しきれない事例や、相談者へのサービス向上及び相談の分散化を図りながら、現状を維持してゆきたい。													
市長公約	-				事業計画	電話相談の延長を行う 月・水～金 9:15～17:45 火 9:15～16:45				・電話相談の延長を行う 月・水木金 9:15～17:45 火 9:15～16:45 ・面接相談は、9:40～17:00（1日6コマ） （1回の面接時間は50分・予約制） ・出張面接相談として、週に2回並木小学校の空き教室で実施 （月・火） ・教育相談員の1名増員（特に子ども担当）を検討していく。				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初		
個別計画	-					面接相談は9:40～17:00（1日6コマ） （1回の面接時間は50分・予約制）	出張面接相談として葛城小学校で行う （月・火曜日）				事業費（A）	6,186千円	8,407千円	8,407千円	0千円					
根拠法令等	-				活動実績	1日1コマ（50分）増やすことにより、集中していた相談事業を効率よく分散することができた。				上半期活動実績	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業分類	A	任意的事业				成果	相談を1コマ（16:10～17:00）に増やすことにより、学校が終わった後の児童生徒や、仕事あがりの保護者の相談に対応することができた。				上半期成果	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制		職員のみ			課題		1日当たり1コマ（週5コマ）を増やして対応しているが、それでも足りないくらい相談が増えており、相談内容がより多様化・複雑化・深化してきている。					課題	-				地方債	0千円	0千円	0千円
事業の目的		電話相談及び面接相談、適応指導教室入級者の人達が、限られた時間の中で安心してそして少しでも快適な環境の下で相談や活動ができるように整備を進めてゆく。 また、不登校、登校しぶりなどをはじめ、教育上生じるさまざまな問題について、援助、指導を行うため。				事業の概要	①不登校等に関する相談、指導及び助言に関すること。 ②適応指導教室における援助指導に関すること。 ③県、市配置スクールカウンセラー等に関する調査、研究及び研究成果の普及に関すること。 ④チーム援助研修に関すること。				事業の進捗状況		-				その他特財	0千円	0千円	0千円
事業の概要					事業の進捗状況		-					改善目標の進捗状況	-				一般財源	6,186千円	8,407千円	8,407千円
ISO 14001	H29環境関連性	-	-	-		事業の進捗状況	-				改善目標の進捗状況		-				人件費（B）	5,373千円	5,112千円	5,112千円
	H30環境関連性	-	-	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている			評価	有効性	-			正職員	従事割合	0.70人	0.70人	0.70人	
						効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-			時間外勤務	92.00時間	54.00時間	54.00時間		
						総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-			臨時職員等	無	無	無		
														事業コスト（A+B）	11,559千円	13,519千円	13,519千円			
														H31年度当初積算根拠	-					
														H31年度の方向性	-	理由	-			